

北陸の海辺 自転車紀行

北 前 船 の 記 憶 を 求 め て

A5判並製・144頁・本体1800円+税／ISBN978-4-87177-336-2 C0095

随時搬入
常時返品可

夏の観光シーズンにいかがでしょう。

かつて大陸への玄関口であった
富山、石川、福井の3県の海辺
どこか懐かしい風景のなか
現地の人とふれあいながら
のんびり自転車で辿る海の轍
朝日新聞連載をまとめたフォトエッセイ

北前船の速度は、現代でいえば自転車のスピードとほぼ同じでした。自転車に乗った著者は、海と山からの風を感じ、海の幸山の幸に舌鼓をうちながら、越前、加賀、能登、越中の国を走ります。地元の人たちも登場します。みながせかせか追い立てられる時代に、のんびり動き回る旅もいいものです。この機会にいかがでしょう？



お忙しい折のファクシミリ、恐縮しております。
ご不要でしたら、お手数ですが、ご一報いただければと存じます。
メールでのご案内をご希望でしたら、次のアドレスにお送り下さい。
(info@applepublishing.co.jp)
本書は朝日新聞夕刊に59回にわたって連載された
「海の轍 北陸発」に加筆修正し単行本化したものです。

藤井満 (ふじいみつる) ・文筆家、元朝日新聞記者
東京都葛飾区生まれ。大学時代に京都のアウトドアサークル「ボヘミアン」に所属して旅にはまり、主に中央アメリカ諸国を旅する。京都大学卒業後、1990年に朝日新聞入社。静岡、愛媛、京都、大阪、島根、石川、和歌山で勤務。著書に「僕のコーチはがんの妻」(角川書店)、「能登の里人ものがたり」(アットワークス)、「石鎚を守った男 峰雲行男の足跡」(創風社出版)などがある。



かつて大陸への
玄関口でもあった北陸の国々。
人と人をつないできた
海の轍を辿る旅。

能登、加賀、越中、越前、若狭——一本気な海の男とおばちゃんたち。
豊かな海の幸と山の恵み。どこか懐かしい景色。

発行／発売：あっぷる出版社(担当：渡辺)
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6
tel.03-6261-1236

ご注文は下記に。ご要望ございましたら担当まで。

fax.03-6261-1286

取次：ト・ニ・楽・中・協・欽・JRC・東宮書
(委託期限後も常時返品可)

あ っ ぷ る 出 版 注 文 書	番線・貴店名	<h3>北陸の海辺 自転車紀行</h3> <p>北前船の記憶を求めて</p> <p>藤井満 著</p> <p>定価：本体1800円+税</p> <p>ISBN978-4-87177-336-2 C0095</p>
	冊	